

～七夕飾り～(ワークハウス)

☆願いが叶いますように



7月6日、翌日が“七夕”ということで…自治会の時間を使って、みんな七夕飾りを作りました!

まずは、中庭の笹を切ってセッティング。それから、ひとりひとり短冊に願い事を書きます。「早くコロナがなくなりますように」「みんなが元気でいられますように」「美味しいものがたくさん食べられますように」「平和」など、皆さん思い思いの願い事や目標を書かれていました。中には、言葉ではなく絵で表現している方もいて、バリエーション豊かな短冊になりました!また、短冊の他に色紙やすずらんテープを使い、流れ星の飾りも作りました。

素敵な流れ星とともに、皆さんの願い事も彗星と織姫にきっと届くことでしょう…☆ミ



「ひろがれ夢募金」へのご協力おねがいます。

～ひとりじゃない、つながる心♡、～コロナから守る♡コロナでもつながる～♡



事業を継続するため PCR 検査(抗原検査等含む)の実施を!

目標100万円の「ひろがれ夢募金」に皆さんのご協力を心よりお願い申し上げます

コロナ変異株の感染がひろがる中でも「はたらく場」「暮らしの場」を守って

昨年よりコロナ禍の重苦しい生活が続く中、変異株の感染拡大が猛威を振るい、不安な日々を送る毎日です。皆様方におかれましても、日々感染の危険や不安を感じながらお過ごしのことと思います。改めまして、平素よりご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

上京ワークハウスの仲間の皆さん、職員の皆さんは、マスク・手洗い・消毒・パルスオキシメーター・三密を避けるなどの感染対策を実施し事業を継続しています。ワクチン接種が始まりましたが、収束にはまだまだ時間がかかり、福祉施設でクラスターを起こさないためにはPCR検査の実施が不可欠となっています。残念ながら国や自治体からは検査実施のための財政的な援助はありません。そんな中、職員から感染をひろげないためにPCR検査(抗原検査等含む)の実施を始めています。検査キットの費用は様々ですが、簡易検査タイプはひとつ数千円かかり、頻度によるものの100万円前後の経費を要します。

検査を実施して、安心して事業を継続するために「ひろがれ夢募金」を

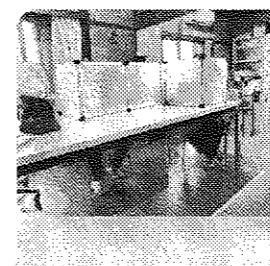
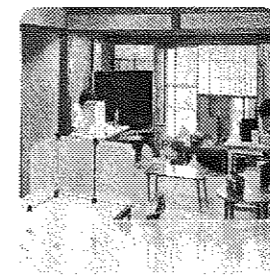
京都ワークハウス後援会は『事業を継続するためのPCR検査実施』をはじめとする感染対策を後押しするために、前年度に引き続き「ひろがれ夢募金」(100万円目標)に取り組みます。コロナ禍の大変きびしい折、誠に恐縮ではございますが趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方のご協力をお願い申し上げます。

募金方法 同封の振込用紙にて『1口1000円』でお振込み願います

2021年7月 京都ワークハウス後援会

感染対策しながらがんばっています!

現在、感染防止・拡大を防ぐ為にも両建物への移動等を控えて頂いており、仲間の皆さんにとっては話したい事を話せない、会いたい人に会えないなど我慢してもらい辛い日々を過ごされています。早くコロナが収まり、以前の様な状態に戻り楽しく過ごせる日々が戻ってきて欲しいですね。



コロナ対策として実施していることは、ワーク・すてつぷとも日々、朝施設に到着すると手洗い・アルコール消毒を済ませ、検温とパルスオキシメーターで血中酸素飽和濃度を測定しています。毎朝記録をつけ、日々の様子の変化がないか確認させて頂いています。また、駐車場掃除や配食等で外出された仲間も戻つてすぐに手洗い・アルコール消毒をしてもらい、感染対策をしており、皆さん意識して自ら行ってくれています。

昼食時の感染対策としてはみなさん距離を開けつつ、飛沫防止対策としてパーテーションを設置して食事を摂られています。毎日食事前後にパーテーションとテーブルはアルコール消毒をしています。